

令和 2 年度 学校自己評価システムシート (県立越谷総合技術高等学校) (案)

目指す学校像	社会に貢献する産業人材を育成するために、自ら進んで学ぶ礼儀正しい生徒を育てる。
--------	---

重点目標	<ol style="list-style-type: none"> 主体的に学ぶ姿勢を育て、生徒一人一人の学力を向上させる。 規範意識を高める指導を推進し、豊かな人間性を持った生徒を育てる。 キャリア教育の充実により、進路に対する意識を高め、希望する進路を実現する。 地域等との連携と積極的な情報発信により、本校教育への理解を深める。
------	--

達成度	A	ほぼ達成(8割以上)
	B	概ね達成(6割以上)
	C	変化の兆し(4割以上)
	D	不十分(4割未満)

※ 重点目標は3つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目(年度達成目標を意味する。)は複数設定可。
 ※ 番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

※学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価懇話会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

書面審議対象者	学校関係者	8名
	生徒	0名
	事務局(教職員)	0名

学 校 自 己 評 価					令和 2 年度 評 価 (2 月 1 日 現 在)		
年 度 目 標					達成度	次年度への課題と改善策	
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況		
1	学習について努力をする生徒がいる一方、学習習慣が確立していない生徒も見受けられる。また、基礎学力の低下により、その上に成り立つ専門知識の習得が難しい。 資格取得や課題に取り組む生徒が多く、そのサポートを組織立てて行う必要がある。 学力や技術力以外に求められる能力としてコミュニケーション能力があり、これを充実させることも産業人材の育成という観点から重要である。	<ol style="list-style-type: none"> 主体的に学ぶ習慣を身に付けさせるとともに、基礎学力を充実させる。 学習面における生徒へのサポートを、教科・学科間で連携を取りつつ行う。 	<ol style="list-style-type: none"> 朝読書の時間を曜日によって分け、基礎学力の定着のための学習の時間を設ける。 ① 考査 1 週間前の期間に設けた補講週間を、教科、学科で共通理解を図り実施する。 ② 補講週間の内容をまとめ、事前に生徒に周知する。 	<ol style="list-style-type: none"> ① 家庭学習や朝学習、補習に積極的に取り組む生徒は増えたか。 ② 授業において理解できていない内容について、受講および質問に来る生徒が増えたか。 ③ 補講週間を活用し、計画的に学習に取り組む生徒は増えたか。 	<p>意欲を高める朝学習の内容の検討が必要である。 ① 朝学習や補習に積極的に取り組む生徒は 2 年生で 58.5%から 72.2%に、3 年生で 37.3%から 52.5%に増加。1 年生は年度当初の臨時休業の影響か、64.0%から 54.3%と減少した。さらに習慣化させたい。</p> <p>学習が遅れがちな生徒へのきめ細かな指導は行き届いている。 ① 理解できない範囲を「教員に聞く」と答えた割合が全体で 15.2%から 18.4%に増加した。 ② コロナ禍で補習週間は実施できなかったが、考査前に学習に取り組まない生徒は減少した。</p>	<p>B</p> <p>A</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒が必要とする能力を見定め、それを向上させる課題に取り組みさせる。また、朝読書の時間を活用し、1 限から落ち着き集中して授業に向かえる姿勢を整える。 ・授業内容の補習や課題におけるサポートを組織的に行い、教員に質問しやすい体制を作ることで、学習意欲の向上と学習習慣の定着を図る。
2	規範意識のある生徒が多く、学校周辺での交通事故は減少している。校内は整理整頓され規律ある学校生活を送っている生徒が多い。しかし、ネット関係での問題や、家庭・学校での人間関係に悩む生徒が多い。 部活動の活性化と交通意識の徹底と適切な状況判断の育成が課題である。	<ol style="list-style-type: none"> ① 安心安全な学校づくりのための教育環境を充実させる。 	<ol style="list-style-type: none"> ① ネットセキュリティ講演会・情報セキュリティ講演会を実施し、心配な生徒情報の共有化を図る。 ② 部活動への参加を促す工夫をして、人間関係を構築し、規律・礼儀・忍耐力を高める。 ③ 通学路での立哨指導を継続する。交通安全に関する講演会を実施し、適切な状況判断力と、対応力を育成する。また、次年度に向けて、事故対応マニュアルカード等の準備をする。 	<ol style="list-style-type: none"> ① ネットモラルに関わる生徒指導件数は減少したか。 ② 部活動への加入状況と活動実績の割合は高いか(加入率を 1 年間減少させない)。 ③ 前年度より交通事故件数の減少は達成できたか。 	<p>集会や LHR 等を工夫し、生徒へ健全な生活行動を指導している。 ① 情報モラル教育を実施しているが、当事者自ら問題行動と認識せずにネットに上げる件数は増加傾向にある。 ② 「部活動の日」の設定により、教職員側の部活動へ参加させる意識は高まったものの、運動部の加入は低く、コロナ禍で思うような活動ができなかった。 ③ 交通事故件数は 2 0 件から 1 2 件に減少したが、加害事故が増加している。</p>	<p>B</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・情報セキュリティの他、薬物乱用防止について教職員の研修を行い指導できるようにする。 ・部活動で生徒が自主的に活動する意義を教職員がしっかりととらえ、顧問間で目標を明確にし、生徒の気づき・学びを支援する体制が必要である。 ・コロナ禍における交通安全の啓蒙活動を如何に行うかを全教職員が再考すると共に、継続的に指導し続けることが求められる。
3	昨年度の就職指導に関する満足度は 94%であった。例年並みであるが、引き続き、満足度を維持し、ミスマッチを防ぐ指導を行っていく。また、オリンピックの延期や新型コロナウイルスによる経済状況の影響が、求人にどのように反映するのか、しっかりと見守りたい。 進学に関しては、満足度を上げるとともに、夏季休業中の進学指導を充実させる。	<ol style="list-style-type: none"> ① 就職希望者の満足度において前年度を上回る。 ② 進学希望者の満足度において前年度を上回る。 	<ol style="list-style-type: none"> ① 企業訪問の回数、訪問企業数を増やし、新規開拓も行う。 ② ミスマッチのないように、生徒との個別相談、学年、担任との情報共有に努める。 	<ol style="list-style-type: none"> ① 就職希望者の満足度は増加したか。 ② 進学希望者の満足度は増加したか。 	<p>学校紹介による就職内定状況は 100%を達成した。 ① 今年度の就職指導の満足度は、96%で、昨年度よりも増加した。 ② 新型コロナウイルスの影響で、思うように進路行事ができなかったが、学年団と進路指導部が協力して実施できた。また、オンライン面接やオンライン試験に対応できるようにいち早く環境を整備した。</p> <p>コロナ禍で、個別指導を徹底した。 ① 進学指導に関する満足度は 99%で、昨年度の 95%よりも増加した。新型コロナウイルスの影響で思うように進路行事ができなかったが、学年団と進路指導部で協力してできた。進学については一般受験を残すのみである。</p>	<p>A</p> <p>A</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の多様なニーズに対応できるよう、進路行事を工夫・改善していく。今後もオンラインによる見学会や面接等が増えることが予想されるため、全教職員が対応できるように研修会等を計画する。 ・今年度計画していた、長期休業中の自習室の設置及び補講の体制を整え、次年度は実施したい。
4	ホームページを通して本校の教育活動を発信し中学校等に広く理解してもらっているが、更なる工夫が必要である。 学校説明会等の内容を検討、充実させるとともに、ホームページのスマートフォンへの対応を検討して本校の活動をより多くの人に見やすく発信し生徒募集につなげることが課題である。	<ol style="list-style-type: none"> ① 情報発信の内容を見直し、より魅力のあるホームページを構築する。 ② 一日体験入学や学校説明会の開催日を見直し、中学生や保護者の参加を促す。 	<ol style="list-style-type: none"> ① ホームページを見やすく整理するとともに、スマートフォンへの対応を進める。 ② 部活動の成績や各学科のコンテスト、競技会の結果を発信し学校の活動をアピールする。 	<ol style="list-style-type: none"> ① 保護者アンケートの結果において、ホームページの満足度が増加したか(昨年度比 10%増)。 ② 地域行事参加の実施数は増加したか。 ③ 体験入学や講座等参加者は増加したか(前年度比 5%増)。 	<p>ホームページに機を逃さず、生徒の活躍を載せていくことが必要だ。 ① ホームページの満足度・更新回数は微量ではあるが上昇した。また、ホームページを「ほとんど見ない」「全く見ない」割合は 2 / 3 を占めており、昨年と変わりなかった。</p> <p>地域連携を工夫して実行する。 ① コロナ禍のため地域イベントやミラクルとの連携事業は中止、産業教育フェアは Web 開催となり、校外活動への参加は縮小した。 ② 中学校への出前授業は昨年より 1 / 3 に減少したが、学校説明会の参加生徒数は、昨年度 4 1 0 人から 6 3 0 人に増加した。</p>	<p>B</p> <p>B</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページに本校生徒の活躍や部活動の成績などを積極的に提示する。 ・地域イベント等へ積極的に工夫して参加し地域貢献することで、本校の評価を高める。 ・中学校との関わりを密にし、中学校教員に本校の特色や進路実績等への理解を図り、適性に合った生徒を募集する。

学校関係者評価
実施日 令和 3 年 2 月 9 日
学校関係者からの意見・要望・評価等
<ul style="list-style-type: none"> ・今年はコミュニケーション能力の育成が難しかったであろうが、協働的な学び合いができる学びの場を検討して、今後も更に工夫した教育内容を実践できると期待している。 ・生徒が「いつまで何をすべきか」自ら計画を立て考え行動できるよう、自主自立へ向けた指導を望む。 ・高学年になるにつれ、先生に開ける割合が増えてくるのはいい事である。生徒自身が意欲的に先生に開きに行けばいいと思う。 ・今の時代はネット関係の指導が必要不可欠である。関心のあることだけに使用するのではなく、勉強にも有効的に使えるよう指導の徹底をお願いする。 ・社会を見ていると盗難だけでなくいろいろな犯罪が増えている。先生方は日々、苦勞されてよくやっている。 ・生徒が交通事故を起こすと立ち去ってしまうケースをよく聞く。必ずその場に留まり、警察を呼ぶよう指導の強化が必要だ。 ・就職後の追跡調査を行い、状況を把握した上で、生徒の性格や適性をよく見て、長く勤められるよう意識づけをお願いしたい。 ・進学先、就職先への最終結果が、第 1 希望に進めたのか、進路アンケートの質問項目に加えて〇%と出すとよい。 ・2 年生の企業実習がなくなってしまったので、それに代わるものとして企業を呼ぶなど、検討していただきたい。 ・ホームページの部活動に関して、更新されていない部がある。前に見たまま変わっていないと、その後見なくなってしまうので、まめに更新すると良い。 ・本校ホームページを見ていない生徒が多い。興味を持てる内容にしてほしい。また、使い慣れたツイッターでも見ることができたら、閲覧が増えるだろう。 ・コロナ禍で制限されることが多いが、ぜひ地域社会と連携して、さらに地域活動の意識を強く持ってほしい。